

第 3 回浪江町仮設焼却施設運営協議会
議事要旨

日 時	平成 27 年 10 月 20 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 00		
場 所	浪江町役場二本松事務所 2 階 大会議室		
出席者	委 員 ◎ : 会長	浪江町	◎南棚塩行政区長 上田順一 ・中浜行政区長 (請戸地区区長会長) 川口登 ・請戸南行政区長 竹村英男 ・両竹行政区長 遠藤健
		泉田川漁業 協同組合	・代表理事組合長代理 泉田重章
		浪江町役場	・ふるさと再生課長 鈴木政己 ・ふるさと再生課 廃棄物対策係長 門馬純子 ・ふるさと再生課 廃棄物対策係 渡邊祐典
		福島県	・生活環境部 一般廃棄物課長 目黒信二
		環境省 福島環境 再生事務所	・減容化施設整備課 課長補佐 八巻孝幸 ・放射能汚染廃棄物対策第一課 首席廃棄物対策官 大川裕
	事務局	環境省福島環境再生事務所	
	事業者	日立造船・安藤・間・神戸製鋼所特定共同企業体	
議事要旨	<p>○事務局から仮設焼却施設受入れヤードにおけるホルマリンの漏えい事故の状況及び対応について説明があり、了承された。</p> <p>○仮設焼却施設の西側用地の活用について、事務局より説明があり、承認された。</p> <p>○仮設焼却施設の運営状況について、事業者より説明があった。</p> <p>○質疑応答により、以下の点が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片付けごみ回収方法を周知徹底するため、改めて「お知らせ」や町の広報誌等で片付け段階での分別の徹底をよりきめ細かく図る。 ・仮設焼却施設での水使用量は 300 トン～600 トン/日で、1 本のポンプ井で地下 200 メートルから汲み上げ使用している。また、柱状図は別途提示する。 ・放射性物質の濃度測定結果 (7～9 月) の空間線量率について、処理開始前の測定値を併記し、別途改定版を提示する。 ・仮設灰保管庫の容量は、フレキブルコンテナで一万袋程度収納可能であるが、来年 1～2 月には 8～9 割が埋るペースである。その時期には北側に増設中の仮設灰保管庫が完成するため、その後の運営期間を通じて発生する焼却灰の全量を保管できる計画である。 		